

令和5年度 長野県職員（獣医師）採用 論文考査

（字数：1,000字から2,000字程度）

- 第1回（R5. 6. 18）課題 近年の食中毒発生状況を踏まえ、県民の安全・安心な食生活のため、公務員獣医師としてどのような貢献ができるか述べなさい。
- 第2回（R5. 9. 10）課題 公務員獣医師として、畜産を振興するためにどのようなことができるか、畜産をめぐる最近の状況を加味して、具体的に書きなさい。
- 第3回（R5. 11. 19）課題 「「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づく基本方針」に沿って動物愛護管理施策を推進するため、長野県が策定した「長野県動物愛護管理推進計画」では、人と動物が共生する潤い豊かな社会づくりへ向けて、5つの重点施策（猫問題への対策、多頭飼育問題への対策、災害対策、動物取扱業者への対応、動物介在活動の推進）を定めている。
これらの施策を推進するため、公務員獣医師としてどのような貢献ができるか述べなさい。
- 第4回（R6. 1. 14）課題 鳥インフルエンザの概要について、国内における近年の発生傾向と社会への影響を踏まえて述べるとともに、家きん飼養農場における高病原性鳥インフルエンザ対策（発生予防及び発生時の防疫措置）について、公務員獣医師として為すべきことを述べなさい。

令和6年度 長野県職員（獣医師）採用 論文考査

（字数：1,000字から2,000字程度）

- 第1回（R6. 6. 16）課題 近年、国内の食中毒件数では、鶏肉を生又は半生で喫食することによるカンピロバクター食中毒が多くを占め、取り組むべき課題となっている。
カンピロバクター食中毒の概要を述べるとともに、鶏肉の一次生産から販売、消費に至るフードチェーン（食品の供給工程）において、公務員獣医師として、どのように食中毒防止施策に関わることができるか述べなさい。

第2回（R6. 8. 25）課題

鳥インフルエンザの概要について、国内外における近年の発生の特徴及び、社会的影響を踏まえて述べるとともに、家きん飼養農場における高病原性鳥インフルエンザ対策（発生予防及び発生時の防疫措置）について、公務員獣医師として為すべきことを述べなさい。

第4回（R7. 1. 19）課題

動物由来感染症（人獣共通感染症：zoonosis）を1つ以上あげ、公衆衛生上の課題、疾病の特徴、公務員獣医師として取り組むべき対策を記述しなさい。

※第3回は受験者がなく中止。